

まちづくり情報満載！

あーばんとーく

こうべまちづくり会館ニュース

Kobe UrbanTalk

2014年1月号(第197号)

- 神戸の都心『未来の姿』 あなたの想いを聞かせてください！ (P.1) 「第3回まちづくり法人国土交通大臣表彰」の募集について
- 祝*10年 まちセン研究ネット 神戸ワークショップ研究会① (P.2)
- 震災写真アーカイブマップできました！/まちなかニュース@北野・山本地区(P.3)
- 会館20周年記念イベントレポート① (11月前半) ほか(P.4)

発行：神戸市立 こうべまちづくり会館

バックナンバーはこちら <http://www.kobe-sumai-machi.or.jp/matisen/>

神戸の都心の『未来の姿』～未来のあなたが、いる神戸～ あなたの想いを聞かせてください！

◎神戸が好きあなたにこそ語ってほしい、『未来の姿』

神戸の都心の『未来の姿』を、神戸を愛する人たちの想いを受けて描いていきたいと考えています。お寄せいただいたご意見も参考にしながら、平成26年度1年間をかけて形にしていく予定です。

あなたのプランを、ぜひお聞かせください。

■対象範囲（右図参照）

新神戸駅から三宮、元町を経て神戸・ハーバーランドまでの範囲

■提案できる人・提案の内容

どなたでもご提案いただけます。

【提案をいただく内容の一例】

- ◎神戸の都心は、将来、こんな姿になっていたらいいな。
- ◎神戸の都心に、こんなもの、こんなことがあったらいいな。
- ◎神戸の都心の好きなところ。大事にしたいこと。



（注意点）

- ・公序良俗に反しない、第三者への誹謗・中傷になるおそれがないようにしてください。
- ・提案やアイデアに対する個別の回答、原稿等の返却はいたしません。
- また『未来の姿』の検討資料として、使用、公表することがあります。

■方法

- ①市ホームページ (<http://www.city.kobe.lg.jp/kobetoshin/>) から直接入力してください。
- ②提案様式を①のホームページからダウンロードし、必要事項をご記入の上、「都市計画総局計画課」まで、郵便・FAX・電子メールで送信または持参してください。

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1（市役所2号館4階）

FAX：078-322-6095 持参の受付時間 平日8時45分～17時30分（年末年始を除く）

アドレス：kobe-toshin@office.city.kobe.lg.jp

電話でのご提案はお受けできません。
ご了承ください。

■期間 平成25年12月20日（金）～平成26年1月31日（金）まで

■お問合せ 神戸市役所 都市計画総局計画課 電話：078-322-5481

「第3回まちづくり法人国土交通大臣表彰」の募集について

「まちづくり法人国土交通大臣表彰」では、自治体や他の法人等が推薦する、都市の課題を解決する先進的な取り組みを行っているまちづくり法人(※)を表彰して、地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させる先進的な取り組みを奨励・普及しています。(※まちづくり法人とは、まちづくりの推進を図る活動を行うことを目的とする会社、特定非営利活動法人、一般社団法人(公益社団法人含む)及び一般財団法人(公益財団法人含む))

【募集について】

◆期間 平成25年12月2日（月）～平成26年2月28日（金）

◆対象

自治体や他の法人等が推薦する、都市の課題を解決する先進的なまちづくり法人（まちづくりの推進を図る活動を行うことを目的とする会社、特定非営利活動法人、一般社団法人(公益社団法人含む)、及び一般財団法人(公益財団法人含む)）

【表彰についての詳細・応募用紙のダウンロード】

詳細については、国土交通省のホームページをご覧ください。
http://www.mlit.go.jp/report/press/toshi05_hh_000100.html

【表彰の部門】

●まちの活性化・魅力創出部門

都市施設等を活用することなどにより、まちの活性化や魅力創出に貢献した取り組みを行っている法人

●まちの安全・快適化部門

防災・防犯対策の充実や都市施設等の整備、環境の向上、地域交通サービスの提供などにより、居住者や来街者の安全性や快適性の向上に貢献した取り組みを行っている法人

●まちづくりの担い手サポート部門

まちづくり活動で活躍する人々を応援し、まち全体の活力向上に貢献した取り組みを行っている法人

1. はじめに

まちづくりを進めていくために必要な「住民参加」の重要な手法の一つとして、ワークショップ（WS）がいろんなところで多用されています。「WSと住民主体のまちづくり」に関心のある人たちがWSについて考え、実践する場が「神戸まちづくりワークショップ研究会」です。

研究会は平成14（2002）年に結成されました。私たちは、阪神・淡路大震災後、各分野でWSを行ったという話はよく聞くものの、どこで、どのようなWSが行われて、その後どうだったのか、などは曖昧なままであったことにある種の危機意識を持っていました。そこで、神戸を中心に住民参加のまちづくり支援を実践しているコンサルタント・行政職員・研究者・学生・マスコミ関係者など多様な人々が集まり、WSという手法にこだわりを持ちながら参加の手法として絶対視することなく、まちづくり支援に取り組む手法を研究し実践するために研究会を結成したのです。

WSはまだまだ発展途上の技術です。月に1回の例会を開催して、会員相互の経験や活動状況の共有、研究テーマについてのホットな討論など、刺激的な会が続けられています

2. 神戸とまちづくりワークショップ

(1) 前史

神戸で「まちづくりWS」という言葉が使われ出したのは、平成3（1991）年ごろ、東京の世田谷区で、アメリカのヘンリー・サノフ氏が考案したデザインゲーム・ワークショップの手法を応用して、住民主体により計画・実現した「ねこじゃらし公園」などの事例が伝えられたのが始まりです。当時は、WSという言葉自体が馴染みのない単語でしたが、これまでの住民参加方式と大きく一線を画する方式として、一部の行政職員や専門家間で話題になっていたのです。

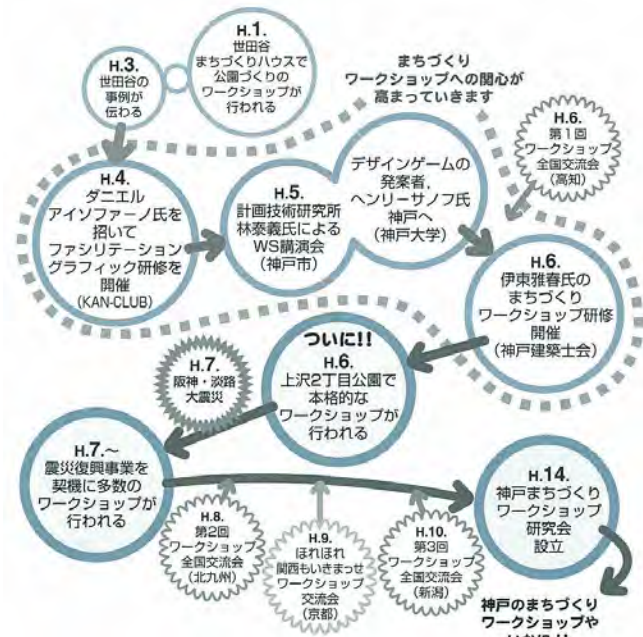
最初の実践の機会は、平成4（1992）年3月に行われた、研修「まちづくりのための『WSを学ぼう』」でした。翌年に神戸で行われる予定のアーバンリゾートフェアのために結成された建築技術関係者のネットワーク「KANクラブ」が、横浜国際デザイン博覧会のゲストとして来日したダニエル・ア

イソファーン氏を招いて、ファシリテーショングラフィックの手法の習得を中心に研修を実施したのです。これまで「説明と質疑応答」という会議の形式に慣れ親しんだ参加者は、グループ単位で作業を伴う創造的な議論をするスタイルに新鮮な驚きを感じました。また平成6（1994）年には建築士会のまちづくり部会が、ねこじゃらし公園のファシリテータを務めた伊藤雅春氏(大久手計画工房)を招いて、WSを学ぶ研修を開催するなど、専門家の間では関心が高まってきました。

(2) 初めての実践

このような助走期間を経て、平成6年ついに住民が参加した本格的なWSによる公園計画づくりが実施されました。上沢2丁目公園づくりWSです。伊藤雅春氏をファシリテータとして迎え、当時の最先端のWS手法を用いた住民参加の公園計画づくりに、市内のまちづくりコンサルタントのほとんどが参加し、実践的に学ぶ機会となりました。

このWSは残念ながら最終の第4回目を行う直前に阪神・淡路大震災のために中断してしまいましたが、現在の神戸のまちづくりWSの源流はこの上沢2丁目公園にあるとって過言ではないでしょう。このWSのようすは、こうべまちづくり会館にて映像でご覧いただくことができます。



神戸とまちづくりワークショップ

(3)震災復興まちづくりの中で

阪神・淡路大震災からの復興過程の中では、多くの地区で公園計画づくりを中心にWSが実施されました。公園以外でも多数のWSが住民参加の計画づくりの手法として実施されたのです。その全容を把握することはできていませんが、震災復興がWSを多くの人に知らしめるきっかけとなったことは間違いありません。

その後、地域重視の観点からも、神戸でのWSの取り組みは数を増して行きました。

近年では、全国的にも広まっていき、どこのまちでもいろんなシーンでWSが開催されていることが確認できますし、WSを進めていく手法についてもいろんな工夫がなされるようになっていきます。また、平成23(2011)年に起きた東日本大震災からの復興計画づくりにおいても数多くのWSが実施されているようです。

※本稿は、本会企画による『宙』vol.02「WSの本～神戸のまちづくり 参加のレシピ～」(こうべまちづくりセンター2005年)の一部を抜粋したものに若干の追加をしたものです。

震災写真アーカイブマップできました！

阪神・淡路大震災の記憶を伝えていくために、市は神戸アーカイブ写真館のボランティアスタッフの皆さんと協力して、被害の大きかった長田区南部の3つの地区で、「震災写真アーカイブマップ」を制作しました。それぞれ1～2時間で巡るルートがあり、ガイドマップ上の98の地点でスマートフォンやタブレットをかざすと、その場所の震災当時の写真を見ることができます。

1. ARアプリコンテンツ

スマートフォンを片手に、写真掲載ポイントを巡ることができるよう、ルート上に震災当時の写真と現在の写真をマッピングしています。



- ①App Store(iOS)または、Google Play(Android)から「junaio」(アプリ名)をダウンロードします。
- ②画面右上の「SCAN」ボタンをタップして右のQRコードを読み取れば、すぐに「震災写真アーカイブマップ」トップページへ。

地図や利用方法などの詳細はホームページ
(<http://shinsai-ar.kobe-shashinkan.jp/>)をご覧ください。
「震災写真アーカイブマップ」のホームページはこちらから→



2. ガイドマップ

新長田北部、新長田南部、野田北部・鷹取東の3地区について、1～2時間で巡るルートを設定した地図を掲載しています。

ARアプリコンテンツの使用方法についても掲載。

<マップ配布場所>
神戸市立地域人材支援センター
(長田区二葉町7丁目1-18)



スマホを持ってなくてもパネルで見られる
「震災写真アーカイブマップパネル展」

入場
無料

- ◆期間：1月7日(火)～31日(金)
- ◆場所：神戸アーカイブ写真館(地域人材支援センター3階)
- ◆時間：10～17時(月曜休館、祝日の場合は翌日)

(市民参画推進局参画推進部広報課)

まちなかニュース@北野・山本地区

明治12年、北野・山本地区内の山本通に、日本最初の国営オリーブ園が設立されていました。「北野・山本地区をまもり、そだてる会」では、その歴史的遺産ともいえる神戸のオリーブを、まちのシンボルと位置づけ、より魅力のあるまちづくりを進めることとしています。

11月16日には、小豆島町から北野のこの歴史と縁を記念してオリーブの樹が贈られました。地元の方からは「今後の展開としては、北野にオリーブの樹をたくさん増やしたい」「神戸マラソンの優勝者に贈る冠を北野のオリーブで作りたい」などのアイデアが出ていました。

今後も北野・山本地区でのオリーブをいかしたまちづくりが期待されます！



オリーブ記念植樹の様子

まちづくり会館20周年記念イベントレポート① (11月前半)

11月10日(日) 元町まち歩き



タウンガイド KOBE24 の皆さんと、4つのテーマでまち歩きを行いました！荒天が予想されたこともあり、当日参加者は45名でした。各テーマで、「楽しめた」「他のテーマも参加したかった」との声をいただきました。今後も、まちの魅力を発信できる企画を検討していきます。

11月10日(日) 風車WS



SMK48 (神戸元町商店街活性化プロジェクト学生グループ) の学生さんと連携して、子どもから大人まで体験できる、簡単で素敵な風車の手作り体験WSを実施しました！約150名の方に参加いただき、80名の方にアンケートに協力いただきました。幅広い層からのご感想をいただきました。

11月16日(土) 地域まちづくり展 「第1弾:元町&大沢&北播磨」トークセッション



「モトマチで、コウベを、ヒョウゴ、を食す。～地産地消アウトリーチの舞台裏を仕掛け人が語る」と題して、神戸元町商店街、大沢町、北播磨おいしんぼ館の取り組みをご紹介します。仕掛け人達の熱い思いをお伝えいただきました。今後の元町での『農』を通じた取り組みや交流が期待されます！

まちづくり会館展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの予定

※展示期間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内 容	主 催 者
1/5(日) ～ 1/21(火)	すまいの耐震化を進めましょう！/市民花壇コンクール入賞作品展	神戸市都市計画総局/神戸市公園緑化協会
1/23(木) ～ 2/11(火)	小中学生による環境ポスター展/摩耶山など灘百選の紹介	神戸市環境局/灘百選の会・灘区役所
2/13(木) ～ 3/4(火)	橋梁模型コンテスト 受賞作品/発火事故防止	神戸市建設局/環境局
3/6(木) ～ 3/25(火)	神戸市都市デザイン賞/兵庫区写真・絵画コンテスト入賞作品展	神戸市都市計画総局/兵庫区役所

地階ギャラリーの予定

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内 容	主 催 者
12/20(金) ～ 1/7(火)	会館20周年記念企画展「CAN あつ～仲間たち～」〈絵画等〉	こうべまちづくり会館
1/9(木) ～ 1/14(火)	神戸大学写真部 部展 〈写真〉	神戸大学写真部
1/16(木) ～ 1/21(火)	竹内美恵子 日本画展 〈日本画〉	竹内美恵子
1/24(金) ～ 1/28(火)	第25回 ろつさん公募写真展 〈写真〉	(一財)兵庫労働者福祉基金協会
1/30(木) ～ 2/4(火)	K S C 十二支会 絵画展 〈油彩・水彩〉	K S C 十二支会



神戸市立 こうべまちづくり会館

開館時間：午前9時30分～午後6時(水曜日休館)

場 所：元町商店街4丁目西端の南側角

地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分

神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分

「西元町」東口から東へ5分

JR・阪神「元町駅」西口から西へ8分

〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14

電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546

ホームページ <http://www.kobe-sumai-machi.or.jp/matisen/>

コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談

受付：午前9時30分～午後5時30分(印刷は～5時)

電話・FAX：078-361-4565 (水曜日休館)

まちづくり会館では地域の取り組み等取材してご紹介しています！
発信したい地域の取り組み等がありましたらぜひご連絡ください！



まちセンメールマガジン
「せん太ちゃん通信」配信中！

お申込は、mati3@kobe-sumai-machi.or.jp宛に「メルマガ配信希望」の件名で空メールを送信または右のQRコードをご利用ください。

